

## 平成24年度事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日

### 《公益事業活動》

#### I. 児童青少年育成事業

児童青少年育成事業とは、こども文化劇場の開催など文化活動を通じた児童又は青少年の健全な育成を目的とするものである。

##### (1) こども文化劇場の開催

こども文化劇場とは、舞鶴では、生の演劇に触れる事が少ないので、親子で優れた演劇を観てもらって、夢と感動を与え、人間の生き方を考える機会にしたい。

###### ＜第20回こども文化劇場＞

開催日	平成24年8月2日(木)
場所	舞鶴市総合文化会館
主催	舞鶴子ども育成支援協会・公益財団法人舞鶴文化教育財団
共催	舞鶴市
出演者	すわらじ劇園
演目	夢みる3人どろぼう
来場者数	約1600人
来場対象者	幼児・小学生・父兄など
参加料	無料
開催案内方法	舞鶴市内の公民館と図書館及び子育て支援センターなどに、ポスターとチラシと入場整理券を配布する。 商業施設のインフォメーションボードにポスターを貼る。

##### (2) 生活文化向上作品展

生活文化向上作品展とは、夢と希望のある作品を制作し、出品できる機会を作り、生活文化の向上に寄与する。今年度も小学校の夏期の自由研究の形で提出される科学作品展を、更に発展させるために、努力・アイディアの観点から選出し、多くの人が集まる大型店で展示した。子供達に大きな夢と希望を持って、科学の探求や生活文化の向上に取り組んで欲しい。

###### ＜第16回小学校生活文化向上作品展の開催＞

開催日	平成24年9月22日(土)～9月23日(日)
場所	駅前的大型商業施設「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	48点
出品対象者	舞鶴市内の小学校児童

出品作品募集方法	舞鶴市小学校教育研究会・舞鶴市内の小学校の協力を得て、科学作品展に出品されている作品から、選定する。
出品作品選定方法	小学校の科学作品展に行き、選ぶ。
選定委員	(公財) 舞鶴文化教育財団理事長 高橋 照 理事 高橋てる恵
テーマ	「科学研究や生活文化の向上に、アイデアや努力を持って、取り組む姿勢」
来場者人数	約2200人
来場対象者	幼児からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内方法	舞鶴市内の小学校校長先生及び選出された保護者に案内文を送付する。
記念品	出品してくれた児童にだす

### (3) 文化興隆事業

文化興隆事業とは、日本の良き文化を継承し、発展していくために実施する。

#### <第14回小学生書初め展>

開催日	平成25年1月14日(月)
場所	「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	76点
出品対象者	舞鶴市立福井小学校4、5、6年生児童
出品作品募集方法	舞鶴市内の小学校に順番に依頼しており、今年度は舞鶴市立福井小学校に依頼した。
出品作品選定方法	選定するのではなく、学年全体で出品してもらう。
テーマ	新年にふさわしい言葉
来場者数	約893人
来場対象者	小学生からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内方法	作品を出品してもらっている小学校に文書で案内する。
記念品	出品してくれた児童に出す。

## 2. 教育、スポーツ、文化活動事業

教育、スポーツ、文化活動事業とは、教育、スポーツ、文化活動を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業である。

### (1) 教育関係事業

教育関係事業とは、教育関係者に対する助成、英語祭に対する助成、当財団が主催

する文化的教室などを通して、市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を育成する。

### ① 教育研究の助成事業

教育研究の助成とは、舞鶴市に設立されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、国立高等専門学校、海上保安学校などにおいて、幼少期から青年期までの心身の発達と教育効果の高揚を期するため、教育関係の個人及び団体に対し、一層の研究の推進を図る。

- ・ 選定委員会  
平成24年6月29日（金）  
高橋淑郎理事・小川彬理事・理事長  
舞鶴市の小学校・中学校4校から応募があり、選定委員会で4校が助成内定する。  
各校ヒアリングをする。
- ・ 助成先の募集方法  
HP上で基準公開の上、公募する。  
小学校校長会（4月18日）中学校校長会（5月7日）  
に出席して説明する。
- ・ 助成金額  
1研究につき、30万円以下とする。
- ・ 助成先と研究主題

舞鶴市中学校教育研究会図書館教育部

「生徒にとって魅力的な学校図書館の運営の工夫」

\* 図書館教育部研修会に参加する（財団スタッフ 2名）

開催日時 10月15日（月）15時～18時30分ごろ

場所 舞鶴市立城南中学校 図書室

内容 講師赤木かん子氏による「図書館運営の講義」

出席者 図書館部長、各小・中・高等学校教諭、地域ボランティア

舞鶴市立三笠小学校 「自らさぐり、自ら深める国語学習の創造」

～書くことで考えを深める～

\* 国語科教育研究発表会に参加する（財団スタッフ 2名）

開催日時 11月22日（木）14時10分から

場所 舞鶴市立三笠小学校

内容 公開授業見学・全体会

出席者 舞鶴市教育委員会 教育長・教育委員長代理

総括指導主事・理事・教育振興部

元奈良女子大学附属小学校教官 尾石忠正氏

舞鶴市小学校教諭

舞鶴市立由良川小学校 「確かな学力を身につけつながらの中で学び合う児童の育成」

～加佐地域の特色ある学校の創造に向けて～

\* 人権学習の見学に行く（財団スタッフ 2名）

開催日時 11月20日（火）  
場所 舞鶴市立由良川小学校  
内容 人権学習の見学（1年生から6年生）

舞鶴市立倉梯第二小学校 「読書を通して知識を広げ、情操を豊かにし、望ましい人格を育成する。」

「倉二っ子の夢をはぐくむ学社連携」

ゆるやかにつながり、いつまでも継続できる

地域ぐるみでつつみこみ、支え合う環境づくり

備品の占める割合が大きくヒアリングを実施し、相談を重ねるが、今回は辞退された。

## ②舞鶴市中学校英語祭助成事業

舞鶴市中学校英語祭助成とは、主催は舞鶴市中学校教育研究会で、舞鶴市教育委員会と後援している。舞鶴市内7中学校の各学年代表による、英語・スピーチコンテストを実施することにより、国際化時代に対応する英語力の育成を図る。

<第28回舞鶴市中学校英語祭(OEF)>

開催日 平成24年11月17日（土）  
場所 西駅交流センター 3階ホール  
主催 舞鶴市中学校教育研究会  
後援 舞鶴市教育委員会・公益財団法人舞鶴文化教育財団  
対象者 舞鶴市内の中学校7校  
応募者数 7校21名  
入賞者数 5校9名  
入賞選定委員 舞鶴市立中学校英語科教諭 2名  
AET 2名  
選定基準 声の大きさ・発音・スピーチの内容・発表態度  
商品 入賞商品 楯 6名  
参加賞 29名（参加者と受付などスタッフ）

### ③文化・体育教室の開催

#### <ペーパークラフト（スクラップ・ブックング）教室>

開催日	平成24年8月22日(水)・8月23日(木)・8月24日(金)
場所	高橋ビル3階の教室
参加者	小学4年生から小学6年生まで4人・大人5人の計9人参加
時間	約3時間半
講習代	800円
講師	アート&クラフトDUO本部スクラップブックング・インストラクター 資格者
アシスタント	財団スタッフ

### (2) 文化教育等団体への助成事業

文化教育等団体への助成事業とは、文化、教育、スポーツ活動を行う団体への助成活動を通じて、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

#### ①ちびっこソフトボール大会助成

ちびっこソフトボール大会への助成とは、主催は舞鶴市PTA連絡協議会・社団法人舞鶴青年会議所で、地域における協働・連携の推進・青少年健全育成を目的に開催されている。舞鶴市内の小学生が、各町内を代表して1つの小学校から1～2チーム出場し、トーナメント形式で勝敗を決める。同時に絵画も募集し、大会当日優秀作品も展示されている。大会運営費や記念品を贈呈した。

#### <第41回市長旗ちびっこソフトボール大会>

開催日	平成24年8月19日(日)
場所	東舞鶴運動公園陸上競技場
援助	ちびっこソフトボール大会の運営費・ポスターコンクールの記念品等
参加チーム	18校区代表32チーム
優勝チーム	A・B・C・Dゾーン各1チーム
参加者数	選手441人 監督32人
来場者数	約550人

#### ②社会文化団体など助成

スポーツ協会・文化協会その他団体への助成とは、一般社会において、法人・団体・組合などで組織活動を行う場合は、組織の範囲内で活動・運営することが当然であるが、新規事業を行う場合等に、資金不足に陥る事がある。そこで、外部からの援助を行う事により、活動が広がり社会貢献に繋がっていく。

・ 助成先の募集方法

H P 上で基準公開の上、公募する。

舞鶴市文化協会・舞鶴市スポーツ協会・スポーツ少年団などの会合で説明する。

・ 助成金額

一件あたり20万円以下とする。

・ 助成先と事業内容

日本ボーイスカウト舞鶴代6団 「ボーイスカウト活動」

スノーピック社製 ドーム型テント

贈呈式 平成25年5月4日(土)

場所 東舞鶴運動公園

一般財団法人 舞鶴市スポーツ協会 「開会式、閉会式や結団式、応援などの事業」

ジャケット、ネクタイ、エンブレムなど 13着

贈呈式 平成25年5月27日(月)

場所 舞鶴文化体育館のスポーツ協会事務所

③ 教育機関への助成事業

海上保安学校助成

海上保安学校助成とは、日本でただ一つの海上保安学校は舞鶴の誇りであり、海国日本の海上交通安全や、海上警備のために、大きな役割を果たす海上保安官を養成している。この重要任務を担われている海上保安学校に対して、地元から声援を送りたいと、不足している図書・教材・楽器などの教育備品拡充の支援を行ってきた。今年度は教育備品の拡充及び教育環境の整備・充実を支援する。

<コーディネーショントレーニング実施>

開催日 平成24年10月18日(木) 10月23日(火)  
10月26日(金)

(10月26日のトレーニングに財団スタッフ2名、参加する)

場所 海上保安学校の体育館

講師 徳島大学教授 荒木秀夫氏

<講演会>

1 開催日 平成24年11月21日(水)

場所 海上保安学校

講師 舞鶴観光ガイドボランティアけやきの会会長 伊庭節子氏  
演題 舞鶴ってどんなまち？（人格形成のための講習）

- 2 開催日 平成24年12月6日（木）  
場所 海上保安学校  
講師 元東京都監察医務委員長 医学博士 上野正彦氏  
演題 検視に必要な法医学入門（法医学講義）
- 3 開催日 平成25年1月31日（木）  
講師 京都造形芸術大学教授 高木克美氏  
演題 今を生きる ～秘められた可能性のために～  
演奏 和太鼓チーム「恵炎」による演奏

<音楽隊・柔道・剣道技術指導費支援>

<贈呈式>

日時 平成25年3月8日（金） 10:30～11:00

場所 海上保安学校 公室

出席者（敬称略） 海上保安学校 学校長 長澤 安純

副校長 平井 勝彦

事務部長 武藤 克弘

教育訓練部長 一本木幹雄

総務課長・図書課長・音楽隊長

（公財）舞鶴文化教育財団 理事長 高橋 照

理事 高橋 てる恵

目録

テナーサクソ	一台
吹奏楽楽譜	一式
管楽器修理	一式
ピアノ調律	一式
図書・DVDソフト	一式

学校法人聖ヨゼフ学園 日星高等学校助成

舞鶴市内にある唯一の私立の高等学校であり、第二次世界大戦後の混迷期から、一貫して女子生徒の情操や道德面の教育に力点をおき、大きな成果を上げて来られた。更に男女共学になり、高等看護専門コースも併設され、広範な教育推進に専念されている。これまでも、図書やベッドなどの備品拡充に協力してきた。

<音楽クラブ楽器購入支援>

平成22年度から3年計画で楽器の寄贈を実施している。学校の野球の応援や発表の活動と舞鶴市内の行事などに参加している。

平成23年度にテナーサクソ・ハーモニーディレクターなどを、寄贈したが、クラブ活動をするのに十分ではないので、今年度最後の助成を行なった。

#### 贈呈式

日時 平成24年7月18日(水)  
PM2時～PM2時30分  
場所 日星高等学校 3階音楽室  
出席者(敬称略) 日星高等学校 教頭先生  
クラブ顧問  
吹奏楽部担当・軽音楽部担当  
教諭 3名  
音楽クラブ他 18名  
(公財)舞鶴文化教育財団 理事 高橋てる恵  
スタッフ 2名

目録 トロンボーン 一台  
ユーホニウム 一台  
グロッケン 一台  
バスドラムマレット 一台  
ギターアンプ 一台

演技披露 吹奏楽部・軽音楽部

#### ④ 音楽関係助成

音楽関係助成とは、音楽活動を通じて、舞鶴市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的とし、音楽活動を行なう団体及び舞鶴市に設立されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、国立高等専門学校、ポリテクカレッジなどのクラブ活動に助成するものである。

- ・審査 平成24年6月13日(水)の理事会  
申請は4中学校と2団体  
助成・内定は4件決まるが、1件辞退
- ・助成先の募集方法 HP上で基準公開の上、公募する。
- ・助成金額 1事業50万以下とする。
- ・助成先 中筋サウンド・ハーモニー

「ハーモニーディレクター 一式」

贈呈式 平成24年7月28日(土)

場所 舞鶴市立中筋小学校

出席者 当財団理事長・高橋てる恵理事  
財団スタッフ 1名



舞鶴市立城北中学校 吹奏楽部

「クラリネット、フルート等」

贈呈式 平成24年7月30日(月)

場所 舞鶴市立城北中学校

出席者 当財団理事長・高橋てる恵理事

財団スタッフ 1名

吹奏楽団 ブルーマリンズ

「ビブラフォン」

贈呈式 平成24年8月4日(土)

場所 舞鶴市総合文化会館小ホール

出席者 当財団理事長・高橋てる恵理事

財団スタッフ 1名

\*吹奏楽団ブルーマリンズ第10回定期演奏会

日時 平成25年4月21日(日)14時~16時

場所 舞鶴市民会館

出演者 41名

演奏曲目 喜歌劇「天国と地獄」序曲他11曲

来場者数 約350人

### (3) スポーツ活動事業

スポーツ活動事業とは、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

#### ①体育振興事業

体育振興事業とは、身体を動かすことによって、市民の心身の健全な発達に寄与する。

＜健康体操教室の開催＞

指導員 財団スタッフ(2名)

資格 公益財団法人日本スポーツクラブ協会

「中高老年期運動指導士」

開催日 毎月5回(各老人ホームで月1回実施する)

場所 特別養護老人ホーム安寿苑とデイサービス

特別養護老人ホームグリーンプラザ博愛苑とケアハウス

舞鶴市立安岡園

参加人数 各教室で約10人

＜安寿会(特別養護老人ホーム・ケアハウス・デイサービス)の運動会の準備体操＞

開催日時 平成24年10月17日(水)午後1時30分~2時15分

場所	舞鶴文化公園体育館の剣道場
参加人数	約100人
財団	スタッフ 3名

### 3. 文化財保護事業

文化財保護事業とは、舞鶴市に係わる文化財の保護事業を通して、文化の発展に寄与する。

#### <神崎ホフマン窯保存活用事業>

現在、ホフマン窯は日本に4箇所残っているだけであり、神崎ホフマン窯は国の登録文化財に登録されており、また、数年前「建造物の近代化に貢献した赤煉瓦生産の歩みを物語る近代化産業遺産」として、認定され、昨年10月には管理団体として指定を受けた。この様に全国的にも貴重な近代化遺産、神崎ホフマン窯を保存し、後世に引き継いでいきたい。

#### ・第6回神崎ホフマン窯会議

登録有形文化財（建造物）神崎コンクリート株式会社

旧煉瓦窯（旧京都竹村丹後製窯所煉瓦窯）保存修理検討委員会

開催日時 平成24年5月14日（月）13時30分～15時45分

場所 舞鶴市字神崎（神崎ホフマン窯所在地）

参加人数 18人

参加者 大学教授・高専教授（検討委員会メンバー）・文化庁・近畿経済産業局・京都府・舞鶴市・建築研究協会・赤煉瓦倶楽部・舞鶴文化教育財団の理事・評議員など

内容 保存修復工事の検討など

・平成24年5月24日（木） 財団法人建築研究協会との打ち合わせ

・平成24年6月5日（火） ホフマン窯改修工事の現場説明会

開催時刻 10時30分から12時まで

場所 舞鶴市字神崎（神崎ホフマン窯所在地）

参加会社 (株)熊谷組・松井建設(株)・(株)桑原組・吉田工業(株)坂根工務店(株)

財団法人建築研究協会・財団理事長・高橋てる恵理事・財団スタッフ

・平成24年6月15日（木） ホフマン窯改修工事入札

開催時刻 10時30分から11時20分まで

場所 舞鶴市字神崎（神崎ホフマン窯所在地）

参加会社 (株)熊谷組・松井建設(株)・(株)桑原組・吉田工業(株)

立会人 坂根工務店（株）  
市役所の松本氏  
（財）建築研究協会・当財団理事長・高橋てる恵理事・  
財団スタッフ  
不調に終わる。

・平成24年6月28日（木） ホフマン窯改修工事について

開催時刻 11時から12時30分

場所 舞鶴文化教育財団事務所

参加者 （株）熊谷組・（財）建築研究協会  
当財団理事長・高橋てる恵理事

開催時刻 15時から16時30分

場所 舞鶴文化教育財団事務所

参加者 松井建設（株）・（株）アレス・（財）建築研究協会  
当財団理事長・高橋てる恵理事

・平成24年7月5日（木） ホフマン窯現地調査

開始時刻 11時30分から12時30分

場所 舞鶴市字神崎（神崎ホフマン窯所在地）

参加者 松井建設（株）・（株）アレス・（財）建築研究協会  
当財団理事長・高橋てる恵理事・財団スタッフ

その後2回現地調査を実施する

・平成24年7月7日（土） 近代化遺産舞鶴大会で神崎ホフマン窯見学

見学時刻 11時から11時30分

見学人数 28名

・平成24年10月17日（水） ホフマン窯改修工事の打ち合わせ

開催時刻 18時30分から20時45分

参加者 松井建設（株）・（財）建築研究協会・舞鶴市  
当財団理事長・高橋てる恵理事・財団スタッフ

・平成24年11月27日（火） 保存修理工事起工式

開催時刻 11時から

参加人数 34人

参加者 舞鶴高専校長・大学教授（検討委員会メンバー）・京都府・  
舞鶴市・神崎ホフマン窯保存推進協議会・神崎公民館館  
長・赤煉瓦倶楽部舞鶴・建築研究協会・松井建設株式会  
社・舞鶴文化教育財団の理事・評議員など

・ホフマン定例打ち合わせ会議 工事期間中はほぼ毎週1回定例会議を行なっ  
た。

参加者 建築研究協会・松井建設株式会社・舞鶴文化教育財団・  
赤煉瓦倶楽部舞鶴

- ・平成25年3月31日(日) 神崎ホフマン窯改修工事の終了  
関連工事に関しては、5月に完了の予定である。  
(平成25年5月23日(木) 竣工式)

#### 4・国際交流事業

国際交流関係事業とは、外国の風土や文化を理解することにより、国際感覚を養い、外国人・留学生など、地域で生活している人が増えている現状の中で、外国人と市民が直接、交流できる場を提供する。

##### (1) 国際交流事業の助成

この事業は、京都府民に係る非営利を目的とする団体等が実施する

- イ) 青少年児童交流促進に関する事業
  - ロ) 文化交流事業
  - ハ) 留学生等外国人府民支援事業
- 二) 海外に対する協力事業
- ホ) その他市民レベルの国際交流事業

で助成の効果が期待できる事業などの各種交流事業に助成することで、舞鶴市民の国際交流活動を活性化させ、市民レベルの国際交流活動を育成・奨励するために行なわれる。また当該団体等が助成対象事業を確実に遂行できる見込みがあることを要する。

##### ・助成先の選定方法

理事会で助成対象となる事業の計画書及び、報告書や組織の目的・活動内容などを審査して決定した。

##### ・助成先の募集

HP上で基準公開の上、公募する。

平成24年10月5日(金)から11月9日(金)まで。

##### ・助成金額

今年度は1事業60万円以下とし、施設費、備品購入費は1事業140万円以下とする。

##### ・助成先と事業内容

沙漠緑化活動京都隊 「中国内モンゴル地区における沙漠緑化活動」

贈呈式 平成25年3月29日(金)

場所 公益財団法人舞鶴文化教育財団事務所

## (2) 国際児童画展の開催

言葉では表せないものが、絵には自然と表れるので、絵を描いたり、見ることによって、自分の町を知り、また他国の違い、共通点を見つけて視野を広げて欲しい。

### <第5回国際児童画展>

開催日	平成25年3月23日(土)~3月24日(日)
開催場所	「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	アジアの子ども達の絵(インド・フィリピン・ネパール・ 中国・韓国) 60点 橘幼稚園(年中) 53点
絵画の集め方	当財団にある外国の子供たちの絵から未展示の絵を選ぶ。 舞鶴市内の幼稚園の絵を借りる。
来場者数	約1512人
来場対象者	幼児からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内	各新聞社にFAXを送信する・出展依頼をした幼稚園 にミニチラシの案内を出す。

## (3) まいづる留学生交流会

舞鶴市及び近郊の留学生と舞鶴市内の学生との交流の場を提供し、お互いの文化・個性に触れることによって、心豊かな国際人を育て、個性を深める。

### <第11回まいづる留学生交流会>

開催日	平成24年11月11日(日) 9時から17時
開催場所	舞鶴市南公民館講義室と小浜市
内容	座談会 福井県立若狭歴史民族資料館見学 箸の研ぎ出し体験(箸のふるさと館WAKASA)
参加者人数	17名
参加者	国立舞鶴工業高等専門学校留学生 京都府立東舞鶴高等学校の生徒と教諭とAET 海上保安学校の生徒と教諭
参加料	無料
募集方法	各学校で参加募集をかけてもらう
開催案内	各学校長に郵送・各新聞社にFAX送信する

以上